

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
現代社会	2 単位 現代日本	日本の政治	堀田 学	1 年次	春

授業のキーワード	選挙、国会、政党
授業の概要・目的 及び修得させる知識・技能	グローバル化や少子高齢社会の中で日本がどのような方向を目指すのか、政治にはこれまで以上の責任があると言えます。この講義では、日本の政治を理解する上での知識の修得を目指します。
履修のアドバイス・ 前提科目等	新聞・ニュース等に積極的に触れるようにしてください。また、日本の行政と現代地方自治論を履修することをお勧めします。

## 授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第 1 講	政治とは何か	授業のオリエンテーションと政治学についての説明をします。	第 9 講	政策決定過程	政策の立案・審議・決定について自民党時代、民主党時代を比較しながら見ていきます。
第 2 講	日本の選挙	国会（衆議院・参議院）の選挙制度の説明や日本人の投票行動などについて説明をします。	第 10 講	日本の内閣制度	日本の内閣制度はどのようなものなのか説明します。
第 3 講	政治とマスメディア	政治におけるマスメディアの影響力について説明します。	第 11 講	中央地方関係	国と地方自治体の関係について考えていきます。
第 4 講	日本の政治家	政治家の選ばれ方、その生活等について考えていきます。	第 12 講	安全保障	日本の安全保障について歴史的な展開から 21 世紀の日本の課題について解説をします。
第 5 講	日本の政党 1	戦前の日本から戦後 55 年体制と言われる時期までの政党について見ていきます。	第 13 講	グローバル化と日本	グローバル化について TPP や自由貿易などの経済問題も含めながら考えていきます。
第 6 講	日本の政党 2	55 年体制の終焉から現在に至る日本の政党について見ていきます。	第 14 講	今後の日本政治の展望	ねじれ国会、二大政党制、日本の政治の課題について考察をしていきます。
第 7 講	官僚制	法案の多くは官僚によって立案されています。日本の官僚制について説明します。	第 15 講	定期試験	
第 8 講	圧力団体	経団連、連合、日本医師会などの団体（＝圧力団体）について考えていきます。	評 価 方 法		出席状況（30%）と期末試験（70%）で評価します。
備 考 (関連する資格・試験等)					
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
伊藤光利編『ポリティカル・サイエンス事始め（第 3 版）』有斐閣、2010 年			荻部直・宇野重規・中本義彦編『政治学をつかむ』有斐閣、2011 年 川出良枝・谷口将紀編『政治学』東京大学出版会、2012 年 加茂利男・大西仁・石田徹・伊藤恭彦『現代政治学〔第 4 版〕』有斐閣、2012 年		